

SDGビジネスに向けた現地ニーズ (BOP世帯の現状と意識)

独立行政法人 国際協力機構

Japan International Cooperation Agency (JICA)

バン格拉デシュ事務所

調査概要

BOP層の状況とニーズを把握することを目的に、BOP世帯調査を実施。幅広いBOP層の状況を確認する為、ダッカ管区、ロングプール管区、シレット管区、クルナ管区の4地点を調査。また各調査地点では、都市部と農村地域の双方を対象とした。

調査時期

2016年1月～3月(ダッカ管区、ロングプール管区)
2016年9月～11月(シレット管区、クルナ管区)

調査方法

質問票を用いた個別訪問

調査地

ダッカ管区、ロングプール管区、シレット管区、クルナ管区（各管区で「都市部」と「農村部」の双方を対象）

調査対象

各地区のBOP世帯(年間収入が3,000ドル未満の世帯)

表1 調査対象世帯数

	都市部 (世帯)	農村部 (世帯)	合計 (世帯)
ダッカ管区	120	120	240
ロングプール管区	120	120	240
シレット管区	120	120	240
クルナ管区	120	120	240
合計	480	480	960



(出典) フィールド調査

(出典) Google Map

生産活動・収入源

平均的な世帯規模は4～5人。主な収入源では農業や畜産、日雇いが多いが、ダッカでは農業外雇用も多く見られる。また世帯年収は12万タカ～14万タカ(日本円で約18万円～21万円)程度。一方、保有資産では携帯電話の保有率の高さが際立つ他、およそ半数のBOP世帯がテレビを所有。

表2 世帯規模

	男性	女性	世帯人数
	(人)	(人)	(人)
ダッカ	2.2	2.1	4.3
ロングプール	2.3	2.1	4.4
シレット	2.6	2.4	4.9
クルナ	2.2	2.0	4.2

(出典)フィールド調査

表3 主要な生産活動と平均年収

	ダッカ		ロングプール		シレット		クルナ	
	世帯数 (世帯)	平均年収 (タカ)	世帯数 (世帯)	平均年収 (タカ)	世帯数 (世帯)	平均年収 (タカ)	世帯数 (世帯)	平均年収 (タカ)
日雇い	7	77,857	3	68,000	127	94,544	118	87,365
農業外雇用	107	92,938	78	67,587	66	95,097	60	108,888
自営業	58	106,633	63	89,538	67	118,224	44	74,841
運送業	58	129,983	80	106,575	13	118,615	27	88,637
農業	21	111,191	26	88,831	87	15,813	91	21,904
畜産業	100	23,977	93	38,934	29	13,345	64	33,379
海外送金	4	25,000	4	54,750	6	120,333	4	57,125
合計	240	142,461	240	121,400	240	134,034	240	121,963

(注)複数回答
(出典)フィールド調査

表4 資産保有割合

	ダッカ		ロングプール		シレット		クルナ	
	世帯数 (世帯)	世帯割合 (%)	世帯数 (世帯)	世帯割合 (%)	世帯数 (世帯)	世帯割合 (%)	世帯数 (世帯)	世帯割合 (%)
住居	155	64.6	225	93.8	165	68.8	184	76.7
土地	119	49.6	187	77.9	173	72.1	180	75.0
バイク	6	2.5	17	7.1	2	0.8	9	3.8
リキシャー	6	2.5	8	3.3	7	2.9	8	3.3
ミシン	23	9.6	26	10.8	25	10.4	50	20.8
携帯電話	230	95.8	225	93.8	222	92.5	216	90.0
ラジオ	1	0.4	4	1.7	1	0.4	2	0.8
テレビ	147	61.3	100	41.7	92	38.3	124	51.7
アイロン	12	5.0	16	6.7	9	3.8	23	9.6
ファン	224	93.3	133	55.4	205	85.4	210	87.5
ソーラーパネル	2	0.8	15	6.3	8	3.3	4	1.7
水道ポンプ	16	6.7	33	13.8	1	0.4	23	9.6
サンプル数	240		240		240		240	

(出典)フィールド調査



支出状況

いずれの調査地でも支出額に占める食料品の割合は高い。一方、購買意欲ではテレビ、炊飯器など家電製品が高い。またBOP層内では、所得が増加すると教育費と運送費の支出割合が増加している。これはBOP世帯における教育熱を反映している他、所得の高いBOP世帯では多くの農産物を販売しており、このことが運送費を押し上げている為と考えられる。

表5 主要支出項目(平均月額)

	ダッカ (タカ)	ロングプール (タカ)	シレット (タカ)	クルナ (タカ)
食料品	5,936	4,873	6,297	5,330
教育	1,579	1,275	683	973
衣類	482	490	646	526
娯楽	363	201	409	320
電気	351	485	291	373
平均世帯月収	11,872	10,117	11,169	10,164

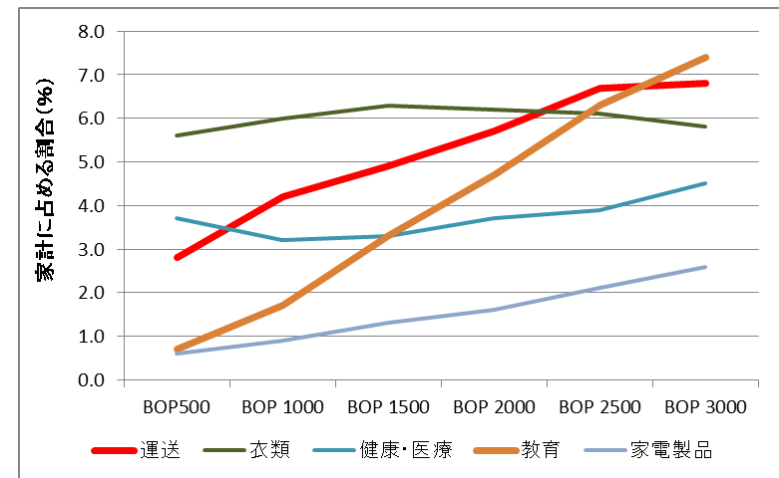
(出典)フィールド調査

表6 今後1年間で何を買いたいですか

	ダッカ		ロングプール		シレット		クルナ	
	世帯数	世帯割合	世帯数	世帯割合	世帯数	世帯割合	世帯数	世帯割合
	(世帯)	(%)	(世帯)	(%)	(世帯)	(%)	(世帯)	(%)
テレビ	92	38.3	98	40.8	155	64.6	117	48.8
炊飯器	80	33.3	71	29.6	66	27.5	123	51.3
扇風機	52	21.7	9	3.8	58	24.2	55	22.9
ファン	57	23.8	117	48.8	95	39.6	88	36.7
携帯電話	84	35.0	111	46.3	154	64.2	125	52.1
車	9	3.8	11	4.6	5	2.1	19	7.9
冷蔵庫	21	8.8	19	7.9	36	15.0	59	24.6
ミシン	1	0.4	1	0.4	3	1.3	1	0.4
自転車	2	0.8	1	0.4	3	1.3	5	2.1
PC	3	1.3	1	0.4	3	1.3	8	3.3
サンプル数	240		240		240		240	

(出典)フィールド調査

図1 所得水準別の支出割合



(出典) HIES 2010を基に試算。



飲料水

ダッカ都市部(スラム街)では、BOP世帯であっても上水道の整備が進んでいる一方、その他の地域では管井戸が主要な水源となっている。過去10年間で飲料水事情が改善したと感じているBOP世帯は、地域差はあるものの総じて多くないものの、(改善を感じている世帯では)管井戸へのアクセスや飲料水の質が改善したと捉えている。

表7 飲料水の水源

	ダッカ		ロングプール		シレット		クルナ	
	世帯数	世帯割合	世帯数	世帯割合	世帯数	世帯割合	世帯数	世帯割合
	(世帯)	(%)	(世帯)	(%)	(世帯)	(%)	(世帯)	(%)
管井戸	131	54.6	235	97.9	130	54.2	226	94.2
上水道	71	29.6	2	0.8	86	35.8	0	0.0
ポンプ汲み上げ	8	3.3	3	1.3	24	10.0	0	0.0
NGOが供給	30	12.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0	14	5.8
サンプル数	240		240		240		240	

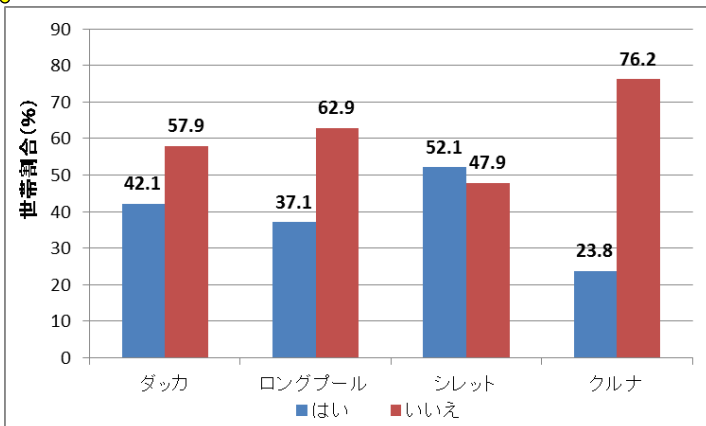
(出典)フィールド調査

表8 都市/農村の水源

	ダッカ		ロングプール		シレット		クルナ	
	都市部	農村部	都市部	農村部	都市部	農村部	都市部	農村部
	%	%	%	%	%	%	%	%
管井戸	10	99	97	99	8	100	98	94
上水道	59	0	2	0	72	0	0	0
ポンプ汲み上げ	6	1	2	1	20	0	0	0
NGOが供給	25	0	0	0	0	0	0	0

(出典)フィールド調査

図2 過去10年間で飲料水事情は改善したと思いますか



(出典)フィールド調査

図3 変化の内容

	ダッカ	ロングプール	シレット	クルナ
第1位	飲料水の質の改善	管井戸へのアクセス	管井戸へのアクセス	飲料水の質の改善
第2位	自宅近くで水が得られる	飲料水の質の改善	飲料水の質の改善	管井戸へのアクセス

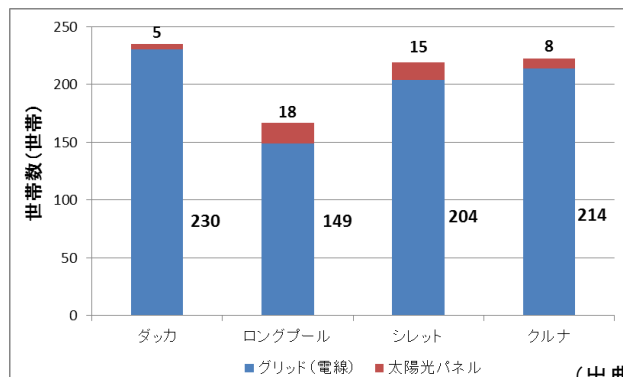
(出典)フィールド調査



電気・ガス

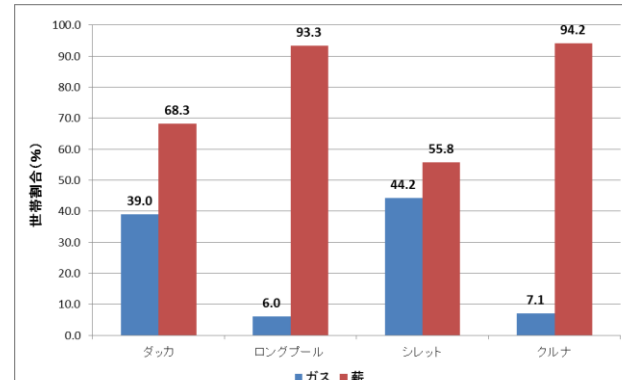
グリッド(電線)と太陽光パネルを合わせると、BOP世帯であっても多くの世帯が電気へアクセスしている。実際、過去10年間で、停電の減少など電気事情の改善を実感している世帯は多い。一方、台所燃料では、地域差はあるものの、ガスの供給を受けている世帯は少なく、多くの世帯が薪を使用している。このことからクリーンで安定的な台所燃料の需要は強いと思われる。

図4 電化世帯割合



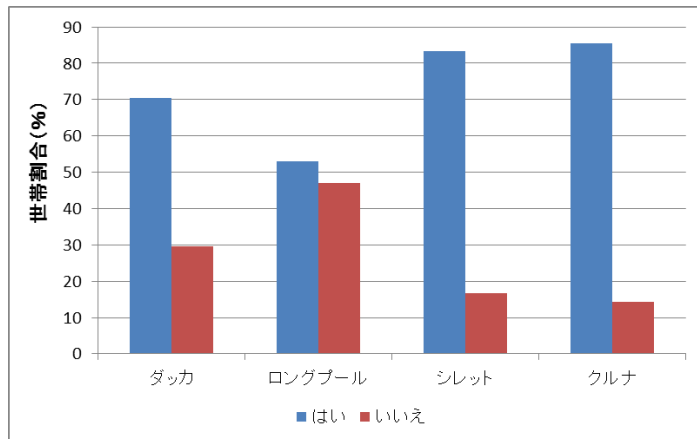
(出典) フィールド調査

図5 台所燃料



(出典) フィールド調査

図6 過去10年間で電気事情は改善したと思いますか



(出典) フィールド調査

図7 何が変わったのか

	ダッカ	ロングプール	シレット	クルナ
第1位	停電減少 (49.7%)	電線敷設 (38.6%)	電線敷設 (76.6%)	電線敷設 (59.5%)
第2位	電力価格上昇 (28.4%)	停電減少 (33.9%)	停電減少 (54.2%)	停電減少 (45.0%)



(注) 複数回答
(出典) フィールド調査

保健医療

過去1年間に掛かった病気では下痢が多く見られた。また病気になった際には薬局に行く世帯が多い。BOP世帯が懸念している病気では、下痢や風邪など一般的な病気はどの調査地でも見られた。一方ダッカではがんや心臓病など非感染症を心配している世帯が相対的に高い他、地方ではデング熱や結核など感染症への懸念を表明する世帯が相対的に高かった。

表9 掛かった病気(過去1年間)

	ダッカ		ロングブール		シレット		クルナ	
	世帯数	世帯割合	世帯数	世帯割合	世帯数	世帯割合	世帯数	世帯割合
	(世帯)	(%)	(世帯)	(%)	(世帯)	(%)	(世帯)	(%)
デング熱	5	2.1	0	0.0	4	1.7	0	0.0
マラリア	1	0.4	1	0.4	2	0.8	1	0.4
結核	2	0.8	1	0.4	1	0.4	1	0.4
下痢	6	2.5	10	4.2	19	7.9	15	6.3
チフス	6	2.5	4	1.7	0	0.0	3	1.3
その他	16	6.7	23	9.6	21	8.8	11	4.6
サンプル数	240		240		240		240	

(出典)フィールド調査

表10 病気になったら、まずどこに行くか

	ダッカ		ロングブール		シレット		クルナ	
	世帯数	世帯割合	世帯数	世帯割合	世帯数	世帯割合	世帯数	世帯割合
	(世帯)	(%)	(世帯)	(%)	(世帯)	(%)	(世帯)	(%)
クリニック	63	26.3	27	11.3	62	25.8	72	30.0
公立病院	49	20.4	36	15.0	146	60.8	151	62.9
民間病院	15	6.3	25	10.4	64	26.7	57	23.8
薬局	75	31.3	124	51.7	225	93.8	138	57.5
伝統的施術師	2	0.8	10	4.2	2	0.8	13	5.4
その他	13	5.4	28	11.7	15	6.3	15	6.3
サンプル数	240		240		240		240	

(注) 複数回答
(出典)フィールド調査

表11 人々が心配に思う疾病

ダッカと地方の双方で心配されている疾病

	ダッカ		ロングブール	
	世帯数	世帯割合	世帯数	世帯割合
	(世帯)	(%)	(世帯)	(%)
下痢	67	27.9	90	37.5
風邪	56	23.3	115	47.9
チフス	41	17.1	36	15.0
黄疸	72	30.0	82	34.2
サンプル数	240		240	

(注) 複数回答
(出典)フィールド調査

ダッカでより心配されている疾病

	ダッカ		ロングブール	
	世帯数	世帯割合	世帯数	世帯割合
	(世帯)	(%)	(世帯)	(%)
がん	32	13.3	15	6.3
心臓病	25	10.4	6	2.5
腎臓病	14	5.8	5	2.1
サンプル数	240		240	

(注) 複数回答
(出典)フィールド調査

地方でより心配されている疾病

	ダッカ		ロングブール	
	世帯数	世帯割合	世帯数	世帯割合
	(世帯)	(%)	(世帯)	(%)
デング熱	19	7.9	48	20.0
結核	23	9.6	60	25.0
皮膚病	27	11.3	55	22.9
サンプル数	240		240	

(注) 複数回答
(出典)フィールド調査

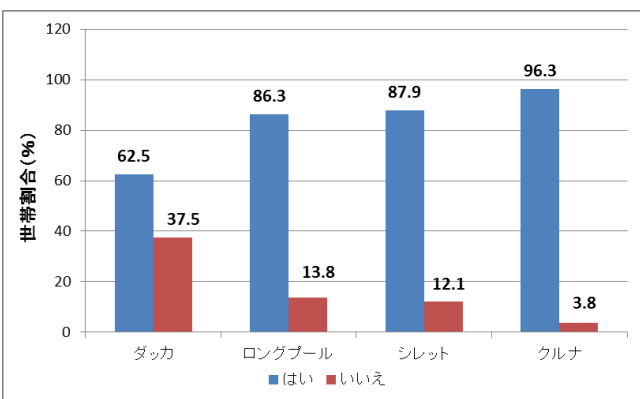
非感染症が多い

感染症が多い

保健医療

過去10年で医療サービスが改善したと感じているBOP世帯は多い。具体的には医療サービスへのアクセスが容易になり、病気の際に（以前では出来なかった）治療を受けられるようになったと感じている。その反面、医療費の高さを感じている世帯も多く、安価で一定の品質を有する医療サービスへのニーズは高いと考えられる。

図8 過去10年間で医療サービスは変化したと思うか



(出典)フィールド調査

表12 どのように変化したのか

	ダッカ		ロングブール		シレット		クルナ	
	世帯数	世帯割合	世帯数	世帯割合	世帯数	世帯割合	世帯数	世帯割合
	(世帯)	(%)	(世帯)	(%)	(世帯)	(%)	(世帯)	(%)
近所での医療サービス	31	12.9	82	34.2	88	36.7	84	35.0
治療の改善	50	20.8	67	27.9	135	56.3	210	87.5
NGOによるサービスの拡大	20	8.3	6	2.5	13	5.4	11	4.6
治療費の高騰	40	16.7	35	14.6	86	35.8	99	41.3
往診費の増加	16	6.7	9	3.8	26	10.8	33	13.8
診察設備の改善	16	6.7	10	4.2	17	7.1	26	10.8
サンプル数	240		240		240		240	

(注)複数回答
(出典)フィールド調査

表13 医療サービスの何が問題か

	ダッカ		ロングブール		シレット		クルナ	
	世帯数	世帯割合	世帯数	世帯割合	世帯数	世帯割合	世帯数	世帯割合
	(世帯)	(%)	(世帯)	(%)	(世帯)	(%)	(世帯)	(%)
医療サービスの質が低い	7	2.9	9	3.8	15	6.3	7	2.9
医療施設の数が少ない	14	5.8	5	2.1	8	3.3	4	1.7
医者数が少ない	26	10.8	33	13.8	36	15.0	41	17.1
医療費が高い	95	39.6	150	62.5	159	66.3	160	66.7
医療施設まで遠い	6	2.5	15	6.3	21	8.8	17	7.1
サンプル数	240		240		240		240	

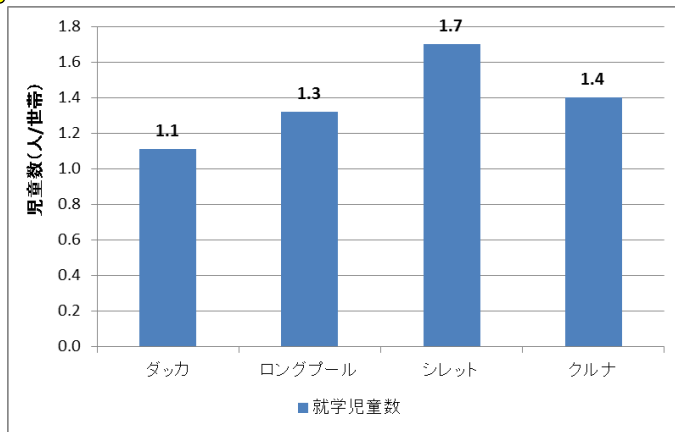
(注)複数回答
(出典)フィールド調査



教育

BOP世帯における就学児童数は平均1～2人。またBOP世帯であっても5割前後の世帯が子供を私立学校に通わせている他、最終的に子供を大学まで通わせたいとする世帯が多い。一方、子供に教育を受けさせる理由として、就業機会の獲得が地域を問わず最も多かった。このことからBOP世帯でも、より高い学歴を得て、それを土台により条件のよい職業に就くことを願っていることが分かる。

図9 就学児童数(世帯平均)



(出典)フィールド調査

表14 学校の種類

	ダッカ		ロングプール		シレット		クルナ	
	児童数	割合	児童数	割合	児童数	割合	児童数	割合
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
公立学校	76	29.0	164	53.6	120	42.4	148	54.4
私立学校	150	57.3	127	41.5	147	51.9	102	37.5
NGO運営学校	30	11.5	14	4.6	14	4.9	21	7.7
その他	6	2.3	1	0.3	2	0.7	1	0.4
合計	262	100.0	306	100.0	283	100.0	272	100.0

(出典)フィールド調査

図10 何故教育を受けさせるのか

	ダッカ	ロングプール	シレット	クルナ
第1位	就業機会	就業機会	就業機会	就業機会
第2位	知識習得	良い生活	良い生活	知識習得
第3位	人格形成	知識習得/ 人格形成	知識習得	良い生活

(出典)フィールド調査

表15 希望学歴

	男子児童			女子児童		
	都市部	農村部	合計	都市部	農村部	合計
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
初等教育	0.0	1.6	0.8	4.1	0.0	2.0
中卒程度	11.9	10.2	11.1	11.4	16.1	13.8
高卒程度	8.9	4.7	6.9	15.4	12.9	14.2
大学卒業	51.9	55.1	53.4	46.3	50.0	48.2
海外留学	27.4	28.3	27.9	22.8	21.0	21.9

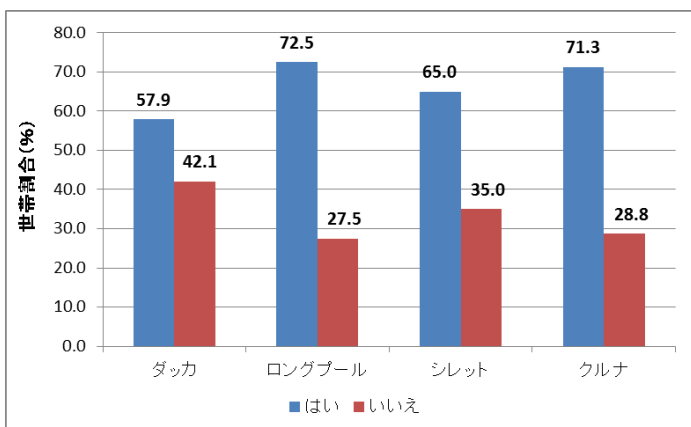
(注)ダッカ、ロングプールのみ

(出典)フィールド調査

教育

過去10年間で教育サービスの改善を感じているBOP世帯は多い。具体的には学校数の増加により教育サービスへのアクセスが容易になったと感じている。一方、無料教育の拡充や教育の質の向上を願う世帯も多く、安価で一定の質を有する教育サービスへの需要は大きい。

図11 過去10年間で教育サービスは変化したと思うか



(出典)フィールド調査

表16 どのように変化したのか

	ダッカ		ロングブール		シレット		クルナ	
	世帯数	割合	世帯数	割合	世帯数	割合	世帯数	割合
	(世帯)	(%)	(世帯)	(%)	(世帯)	(%)	(世帯)	(%)
学校数の増加	48	20.0	71	29.6	40	16.7	45	18.8
無料教育機会の拡大	10	4.2	13	5.4	17	7.1	42	17.5
教育費用の増加	27	11.3	2	0.8	7	2.9	2	0.8
識字率の向上	31	12.9	25	10.4	18	7.5	28	11.7
教育への啓蒙の普及	11	4.6	9	3.8	15	6.3	11	4.6
職業訓練の普及	12	5.0	61	25.4	5	2.1	1	0.4
奨学金制度の導入	0	0.0	0	0.0	10	4.2	15	6.3
サンプル数	240		240		240		240	

(注)複数回答
(出典)フィールド調査

図12 教育サービスの何が問題か

	ダッカ	ロングブール	シレット	クルナ
第1位	無料教育の普及	無料教育の普及	無料教育の普及	教材価格の低下
第2位	教員の質の向上	教員の質の向上	教員の質の向上	塾の廃止
第3位	奨学金制度の導入	塾の廃止	奨学金制度の導入	教員の質の向上

(注)複数回答
(出典)フィールド調査



農業

都市部のBOP世帯の多くはスラム地域に居住している為、都市部での農業従事世帯は殆どない。一方、農業従事世帯では、米の他に野菜、サトウキビなど多くの種類の農作物を生産している。また農業生産物の多くを販売に回しており、BOP世帯においても「食べる為の農業」から「お金を稼ぐ為の農業」に転換していることが分かる。

表17 農業従事世帯割合

	ダッカ		ロングプール		シレット		クルナ	
	都市部	農村部	都市部	農村部	都市部	農村部	都市部	農村部
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
はい	0	81	0	78	1	64	0	55
いいえ	100	19	100	23	99	34	100	45
合計	100	100	100	100	100	100	100	100

(出典) フィールド調査

表18 主要生産物の生産量と市場販売量

	ダッカ		ロングプール		シレット		クルナ	
	生産量	市場販売量	生産量	市場販売量	生産量	市場販売量	生産量	市場販売量
	(mun)	(mun)	(mun)	(mun)	(mun)	(mun)	(mun)	(mun)
Aus米 (4月～8月)	34	31	34	24	33	33	8	2
Amon米 (7月～12月)	39	16	41	25	33	31	15	4
Boro米 (10月～4月)	61	46	50	32	41	7	29	10
トウモロコシ	48	45	47	47	-	-	-	-
マスタード	37	37	4	2	18	-	17	7
じゃがいも	26	26	41	36	22	18	35	32
トマト	23	23	21	17	67	45	50	49
サトウキビ	153	153	121	121	14	-	-	-
バナナ	156	140	257	250	-	-	15	13
野菜・果物	9	9	53	46	21	5	29	26

(注) 1 mun = 37.32kg

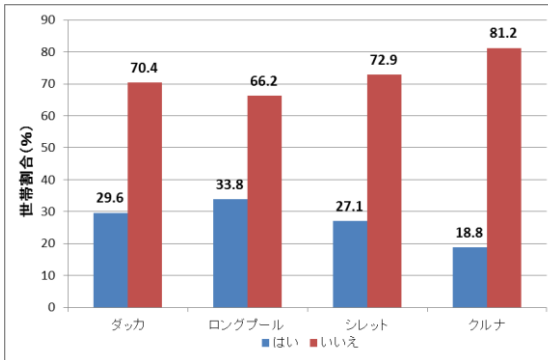
(出典) フィールド調査



農業

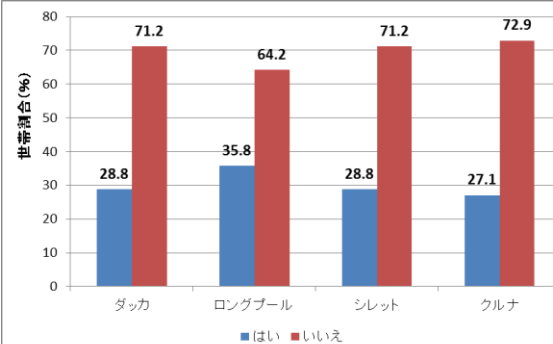
一方、多くのBOP世帯は過去10年間で農業生産量は増加していないと感じている。これは、農業機械が普及しておらず、土地面積当たりの生産性が低いことが原因と考えられる。一方、肥料・殺虫剤には一定の費用が掛かっている他、収穫した生産物は適切な設備で保管されていない。

図13 過去10年間で生産量は増加したか



(出典)フィールド調査

図14 農業機械の使用世帯割合



(出典)フィールド調査

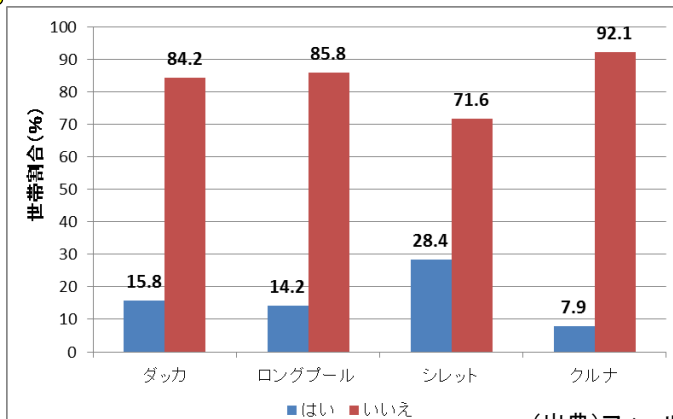
表19 肥料と殺虫剤の平均年間費用

	ダッカ (タカ/世帯)	ロングポール (タカ/世帯)	シレット (タカ/世帯)	クルナ (タカ/世帯)
肥料	5,444	5,459	4,953	3,524
殺虫剤	1,982	1,343	907	887



(出典)フィールド調査

図15 保管設備の有無



(出典)フィールド調査

“はい”と答えた人の
内で

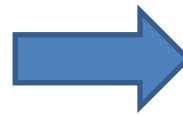
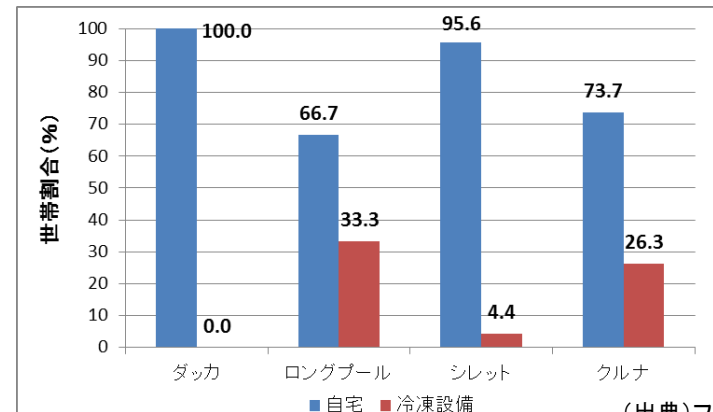


図16 保管場所

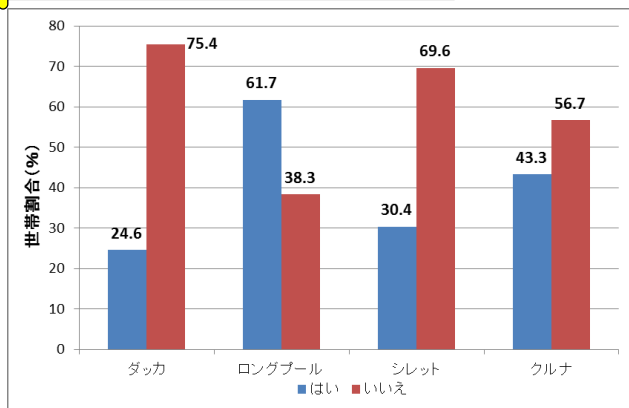


(出典)フィールド調査

家畜飼育

家畜飼育の従事世帯割合には地域差が見られた。一方、家畜飼育からは年間で数千タカ程度の収入しか得られていない他、過去10年間で改善を感じているBOP世帯は少ない。このような中、家畜数や獣医の増加の必要性を感じているBOP世帯は多い。

図17 畜産従事世帯割合



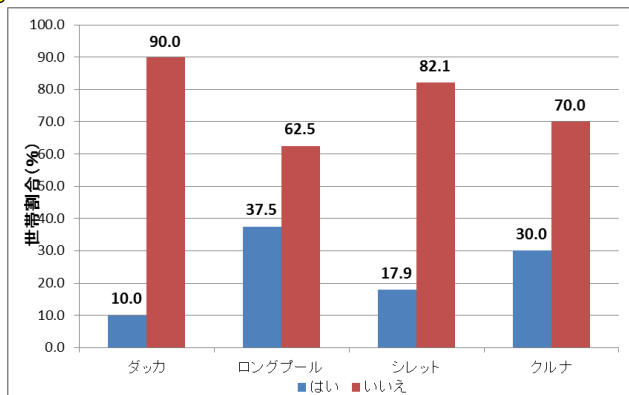
(出典) フィールド調査

表20 平均家畜保有量と平均年収

	ダッカ		ロングプール		シレット		クルナ	
	平均保有数	平均年収	平均保有数	平均年収	平均保有数	平均年収	平均保有数	平均年収
	(頭 / 世帯)	(タカ / 年)	(頭 / 世帯)	(タカ / 年)	(頭 / 世帯)	(タカ / 年)	(頭 / 世帯)	(タカ / 年)
牛	3	22,939	2	18,073	2	7,621	2	22,280
ヤギ	3	3,000	2	7,383	1	2,520	2	8,938
鶏	6	3,532	5	1,631	5	1,016	7	3,369
アヒル	6	200	5	2,328	10	4,000	5	350
ハト	27	2,400	10	1,283	8	200	22	1,650
羊	3	35,000	-	-	-	-	-	-

(注) 家畜保有世帯における平均保有量と家畜飼育から得られる平均年収を集計
(出典) フィールド調査

図18 過去10年間で家畜飼育は改善したと思いますか



(出典) フィールド調査

表21 改善が望まれること

	ダッカ	ロングプール	シレット	クルナ
	(%)	(%)	(%)	(%)
獣医数の増加	7.1	22.6	16.3	15.9
安価な薬の普及	0.0	4.8	16.3	1.9
家畜数の増加	50.0	20.2	10.9	32.7
家畜数の削減	7.1	2.4	9.8	9.3
家畜農家数の増加	7.1	7.1	3.3	10.3
病気の予防	21.4	10.7	8.7	0.9
需要の増加させる	7.1	23.8	10.9	14.0

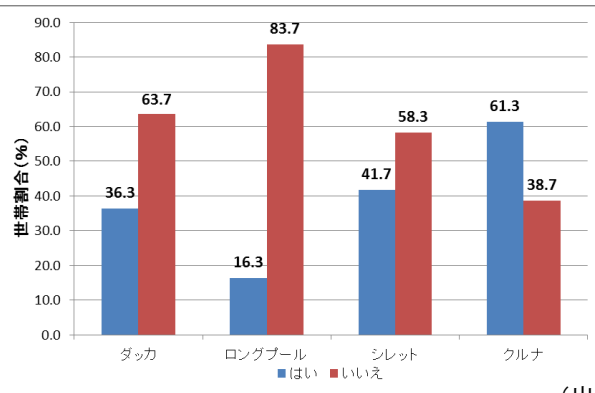
(出典) フィールド調査



マイクロファイナンス

BOP世帯における金融サービスへのアクセスは、地域差はあるものの30～40%程度。マイクロファイナンス機関と呼ばれるNGOが多く利用されている。一方、マイクロ保険へアクセスしている世帯割合は低いものの、購入希望の世帯は30～40%程度存在する。中でも貯蓄型保険や生命保険のニーズが高い。

図19 金融サービスへのアクセス世帯割合



(出典) フィールド調査

表22 金融機関の種類別アクセス状況

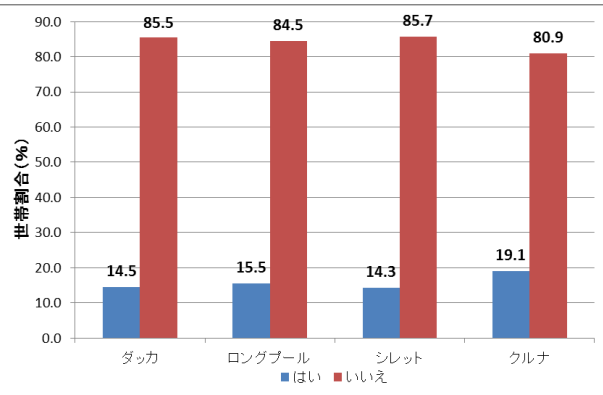
貯蓄

	ダッカ (%)	ロング布尔 (%)	シレット (%)	クルナ (%)
銀行	8.1	31.0	15.1	8.7
貯蓄グループ	16.2	14.3	8.5	5.4
NGO	73.7	38.1	75.5	85.2
親戚	1.0	2.4	0.0	0.0
その他	1.0	14.3	0.9	0.7
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

融資

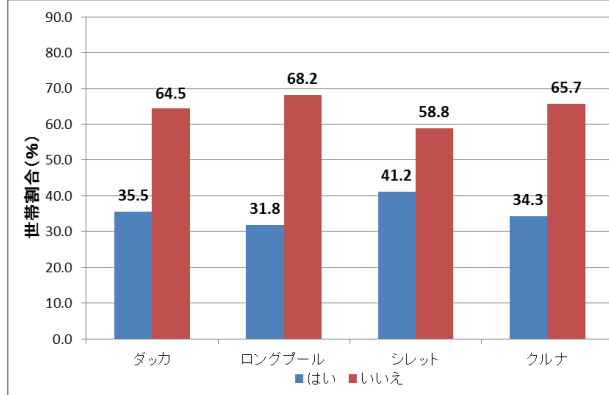
	ダッカ (%)	ロング布尔 (%)	シレット (%)	クルナ (%)
銀行	0.0	6.0	3.6	4.8
貯蓄グループ	12.0	4.5	3.6	2.7
NGO	70.7	87.3	77.5	88.4
親戚	15.2	1.5	8.1	3.4
その他	2.2	0.7	7.2	0.7
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

図20 マイクロ保険へのアクセス世帯割合



(出典) フィールド調査

図21 マイクロ保険の購入希望世帯割合



(出典) フィールド調査

表23 購入したい保険商品

	ダッカ (%)	ロング布尔 (%)
貯蓄型保険	50.0	35.2
生命保険	38.1	45.5
健康保険	3.6	3.4
学資保険	8.3	15.9

(出典) フィールド調査

マイクロファイナンス

金融サービスに満足している世帯割合は多い一方で、貸付利息が高いと感じている世帯も多い。またBOP世帯にもスマートフォンは広まってきており、スマートフォンによるモバイルバンキングの利用割合も30～40%程度存在する。この為、マイクロファイナンスにおける情報通信技術（ICT）の活用は今後も大きな切り口となる。

図22 金融サービスに満足していますか

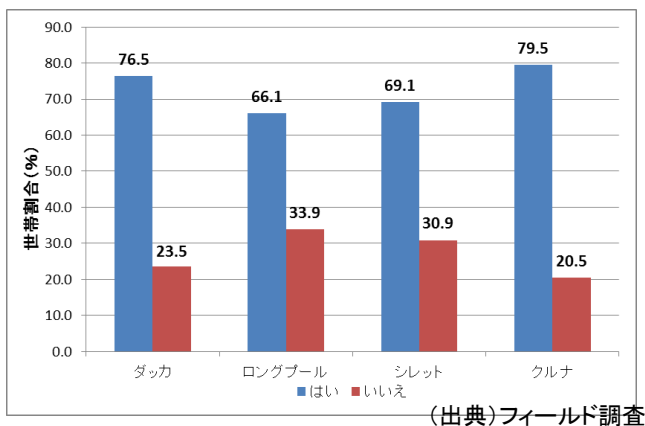


表24 不満足なところはどこですか

	ダッカ (%)	ロングポール (%)	シレット (%)	クルナ (%)
所得が低く返済が苦しい	67.6	11.6	27.4	29.2
利息が高い	20.6	88.4	51.6	50.0
返済期間が短い	0.0	0.0	16.1	12.5
その他	11.8	0.0	4.8	8.3
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

(出典)フィールド調査

表25 スマートフォン保有世帯割合

	ダッカ				ロングポール			
	都市部		農村部		都市部		農村部	
	世帯数 (世帯)	割合 (%)	世帯数 (世帯)	割合 (%)	世帯数 (世帯)	割合 (%)	世帯数 (世帯)	割合 (%)
はい	21	17.5	29	24.2	25	20.8	6	5
いいえ	99	82.5	91	75.8	95	79.2	114	95
合計	120	100	120	100	120	100	120	100

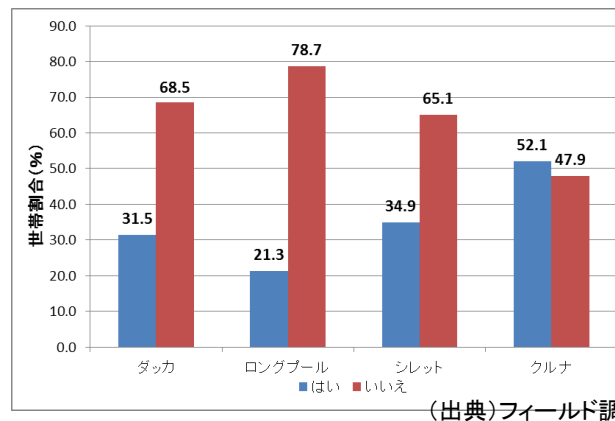
(出典)フィールド調査

表26 スマートフォンからインターネットへの接続割合

	ダッカ				ロングポール			
	都市部		農村部		都市部		農村部	
	世帯数 (世帯)	割合 (%)	世帯数 (世帯)	割合 (%)	世帯数 (世帯)	割合 (%)	世帯数 (世帯)	割合 (%)
はい	10	47.6	21	72.4	18	72	4	66.7
いいえ	11	52.4	8	27.6	7	28	2	33.3
合計	21	100	29	100	25	100	6	100

(出典)フィールド調査

図23 モバイルバンキング使用世帯割合



補 論

* 本調査では2010年の人口統計からBOP層の人口、世帯数も推計しましたので、その結果も併せてご紹介します。

BOP世帯の分布

バングラデシュにおけるBOP世帯は2,940万世帯で総世帯の89%を占める。またBOP世帯を所得階層で区切ると1,000ドルから2,000ドルの範囲が最も多く1,520万世帯が存在。更に、BOP層内では所得が増加すると家電の保有世帯割合が増加する傾向が見られた。この為、一口にBOP世帯といっても、その所得階層にも留意することが必要。

表27 BOP層の規模

	世帯数	人口	平均世帯年収額	
	(百万世帯)	(百万人)	(タカ)	(米ドル)
全国	33.0	150.3	125,621	1,765
BOP層	29.4	128.3	99,382	1,396
中間所得層	3.7	22.4	333,806	4,690
農村地域	24.2	110.6	109,008	1,532
BOP層	22.6	99.8	93,872	1,319
中間所得層	1.6	10.7	317,772	4,465
都市部	8.9	39.6	155,221	2,181
BOP層	6.8	28.5	110,696	1,555
中間所得層	2.1	11.6	343,922	4,832

(注) タカと米ドルは2010/11年度の平均為替に基づいて計算。
(出典) HIES 2010を基に試算。

表29 所得別BOP層の規模

	世帯数	人口	平均世帯年収	
	(百万世帯)	(百万人)	(タカ)	(米ドル)
BOP 500	1.3	2.6	26,004	365
BOP 1000	7.8	27.7	56,348	792
BOP 1500	9.2	41.0	88,019	1,237
BOP 2000	6.0	29.9	122,996	1,728
BOP 2500	3.2	16.8	158,368	2,225
BOP 3000	1.9	10.3	194,975	2,739
BOP Total	29.4	128.4	99,382	1,396

(注) タカと米ドルは2010/11年度の平均為替に基づいて計算。
(出典) HIES 2010を基に試算。

表28 地域別BOP層の規模

	総世帯数	BOP世帯数	BOP世帯割合
	(百万世帯)	(百万世帯)	(%)
Barisal	2.0	1.9	95.0
Chittagong	5.7	4.7	82.5
Dhaka	11.1	9.6	86.5
Khulna	4.1	3.9	95.1
Rajshahi	4.5	4.2	93.3
Rangpur	3.9	3.7	94.9
Sylhet	1.7	1.4	82.4
全国	33.0	29.4	89.1

(出典) HIES 2010を基に試算。

表30 所得階層別の資産保有状況

		BOP 500	BOP 1000	BOP 1500	BOP 2000	BOP 2500	BOP 3000	Total BOP
ラジオ	(%)	5.3	6.0	4.9	5.7	4.6	5.7	5.4
自転車	(%)	28.6	24.9	22.9	20.6	20.0	20.3	22.7
バイク	(%)	2.3	2.9	3.1	3.0	3.8	3.7	3.1
車	(%)	0.0	0.3	0.6	1.0	0.4	0.7	0.6
冷蔵庫・冷凍庫	(%)	5.1	8.2	10.0	13.3	14.8	18.0	11.1
洗濯機	(%)	0.9	0.1	0.4	0.2	0.4	0.1	0.3
テレビ	(%)	30.1	31.8	35.1	39.7	41.5	40.7	36.1
ミシン	(%)	4.9	5.9	6.3	6.4	6.9	9.3	6.4
携帯電話	(%)	55.3	57.9	63.0	63.2	69.0	69.4	62.5
PC	(%)	0.9	1.6	1.8	2.4	3.4	3.8	2.1
対象世帯数	(百万世帯)	1.3	7.8	9.2	6	3.2	1.9	29.4

(出典) HIES 2010を基に試算。

終わり

